

RECURECO

# RecoReco

## 会話のドラマを記録します

会話のドラマ

書き起こし

記録

思い出

- 吉田 泉(未来大)
- 佐藤 至典(未来大)
- 高橋 諒大(未来大)
- 合田 和馬(未来大)
- 七海 龍平(未来大)
- 日戸 直紘(未来大)
- 岩元 勇樹(法政大)
- 上岡 凌(法政大)
- 長田 樹郎(法政大)
- 加藤 浩平(法政大)
- 金子 伸大(法政大)
- 坂野 千帆(法政大)

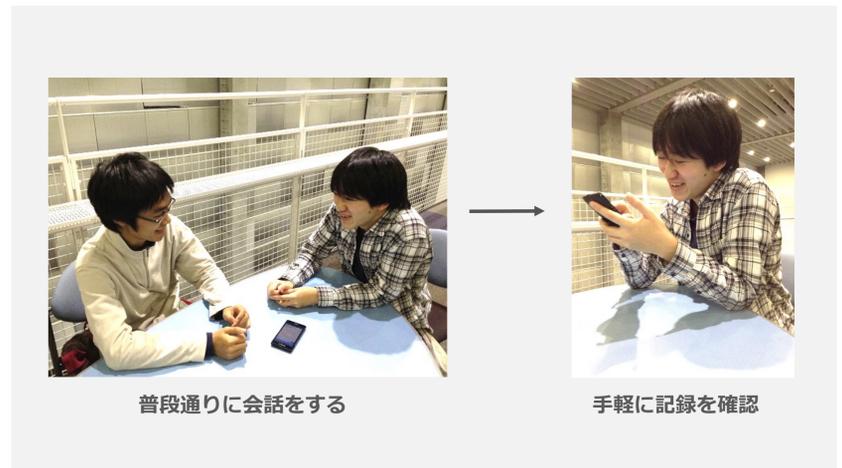
## 01 RecoReco とは

人は絶対に忘れたくない思い出さえも、歳月が経つと記憶が曖昧になって思い出せなくなってしまう。そこで本サービスは、会話のドラマを記録しユーザの思い出を保存することを目的とする。会話のドラマとは、会話における人の感情の変化や盛り上がりのことである。ユーザは、本サービスを利用することでその時の会話の記録を手軽かつ鮮明に思い出すことができる。



## 02 利用形態

本サービスは、ユーザの大切な思い出を記録したい時に利用する。ユーザが本サービスを利用する場合は、アプリケーションを起動するだけでよい。会話を終了したら自動的に書き起こされる。書き起こしする際に、ただ会話の内容を書き起こすだけではなくボリュームから文字の大きさを変化させ、単語に応じた色が付加される。



## 03 実現するための技術と仕組み

### ● 音声認識

音声認識では、会話を文章に書き起こす。端末で録音した音声データをサーバに送る。サーバは、端末から送られてきたデータから書き起こしを行う。音声認識を行う際に、IBMのSpeech to Textを使用する。

### ● 話者認識

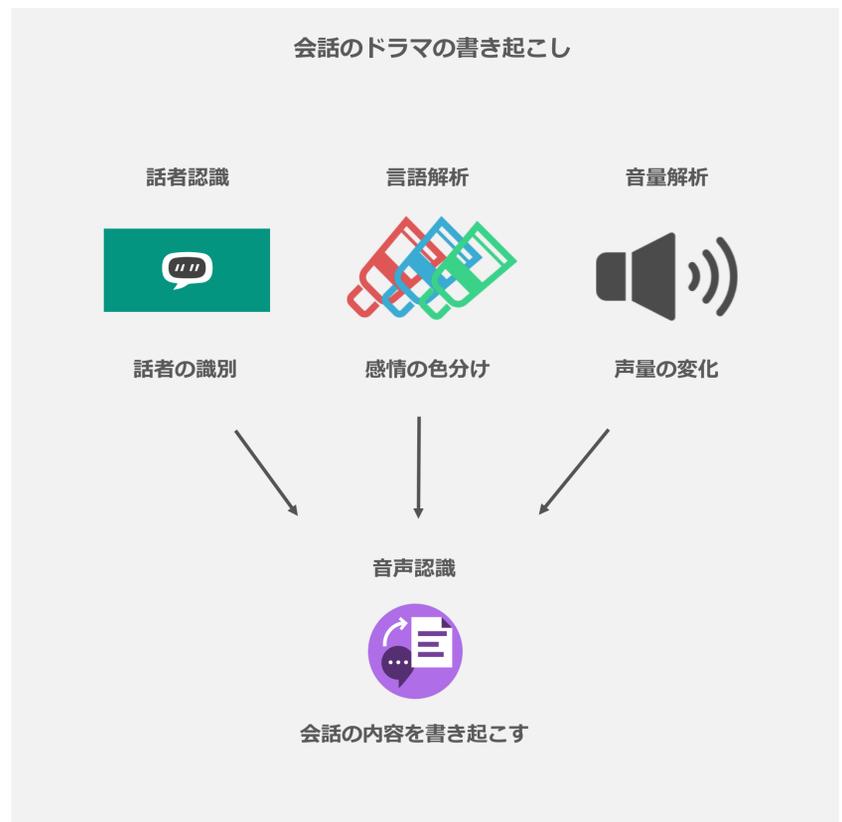
話者認識では、誰が話しているかを識別する。ユーザ登録時に登録した声をもとに書き起こされた文章に対して、どのユーザが話していたのかを特定する。識別する際にMicrosoft Speaker Recognition APIを使用する。

### ● 言語解析

言語解析では、単語に色をつけたり、絵文字をつけたりする。サーバは感情を表現している単語をデータベースに登録する。その状態で端末から送られてきたデータから、サーバは感情を表現している文字に色付けを行う。

### ● 音量解析

音量解析では、会話の音量を測定して単語の大きさを変える。端末から送られてきた音声データをサーバが受信し、そこで会話のボリュームを測定して文字の大きさに反映させる。



## 04 ビジネスモデル

### ● 課金モデル

本サービスでは書き起こしをする際にチケットを消費する。インストール時やログインボーナスでチケットは配布されるが、頻繁に書き起こしを行うユーザ向けに2つの課金モデルを用意する。1つ目は、100円支払うことでチケットを6枚得ることができるモデル、2つ目は、月に540円支払うことで無制限に書き起こしを可能とするモデルの2つの課金モデルを用意する。



### ● 仲介取引モデル

本サービスでは有名人所属事務所や一部人気ユーザ(以下：契約者)との書き起こしデータの共有の有料化を行う。一般ユーザは契約者の書き起こしデータを閲覧するためには月額を払う必要がある。この時に発生する販売利益は30%を運営が徴収し、70%は契約者に分配される。また、閲覧を契約した一般ユーザからは1有料アカウントにつき月額216円を徴収する。

